

滝乃川学園

石井亮一・筆子記念館

昭和3年竣工の昭和初期を代表する教育建造物
木造のモダンな近代建築で
アーチ付きの玄関ポーチを中心に広がる
水平線を強調したデザインで軽やかな
印象を与えます。



時は、大正2年「荻野吟子の講演会」男尊女卑の世の中、病に苦しむ女性を救う為、多くの女性医師が増える事を期待する」と、後輩達に語るシーンが印象的。



苦肉の策で男装して登校したが、激しい差別の厳しい毎日となる。